

目 次

第 I 部 序 論

第 1 講 総 説 ————— 2

- 1 環境法とは何か 2
- 2 環境法の全体像 5
- 3 環境法の特徴・学び方 7
- 4 環境法の理念 8
はじめに／環境法の基本理念としての環境権／
環境法の理念（めざすべき社会像）としての Sustainable Development
- 5 環境法の諸原則 12
汚染者（原因者）負担原則／予防原則

第 2 講 公害・環境訴訟の展開と環境法の発展 ————— 17

- 1 はじめに 17
- 2 前史——戦前～戦後復興期 18
- 3 公害法制の成立と発展 21
公害法制の成立——1950年代後半～60年代半ば／
環境政策の前進と法整備——1960年代後半～70年代前半／
四大公害訴訟の意義／公害差止訴訟と環境権の提唱
- 4 環境政策と環境法の停滞ないし後退 33
1970年代半ば以降の公害・環境問題／
環境政策の停滞ないし後退／訴訟の動向
- 5 環境法の新たな発展——1990年代以降における変化 37
環境問題の「国際化」／わが国における新たな動き
- 6 原発事故と環境法 42

第Ⅱ部 公害・環境訴訟の理論

第3講 損害賠償（1）——過失・違法性（受忍限度）—— 46

- 1 公害・環境訴訟の種類 46
公害・環境訴訟の特質／公害・環境訴訟の種類
- 2 公害・環境民事損害賠償訴訟 49
はじめに／公害・環境民事損害賠償訴訟の根拠規定／
権利・法益侵害（違法性ないし受忍限度）／故意・過失

第4講 損害賠償（2）——因果関係・共同不法行為—— 68

- 1 因果関係論 68
はじめに／公害法制確立期前における因果関係論／
1960年代後半以降の展開
- 2 共同不法行為 78
はじめに／公害訴訟における共同不法行為論

第5講 損害賠償（3）——損害論・請求権の期間制限—— 86

- 1 損害論 86
はじめに／公害訴訟における損害論
 - 2 損害賠償請求権の期間制限 91
はじめに／継続的被害の起算点／水俣病訴訟における期間制限
- 補論1 和解による解決 95
- 補論2 公害健康被害補償法 99

第6講 民事差止訴訟—— 102

- 1 差止めの法的構成 102
権利説／不法行為説（ないし受忍限度論）／複合構造説／裁判例
- 2 差止めの具体的要件 110
- 3 差止めの「2つの壁」 113
行政権との関係での「壁」／抽象的不作為請求に対する「壁」／

差止請求「2つの壁」の打破

- 4 複数汚染源の差止め 115

第7講 国家賠償訴訟 117

- 1 国家賠償法の概要 117
はじめに／国家賠償法1条の責任／国家賠償法2条の責任
- 2 公害と国家賠償 121
はじめに／規制権限不行使による国家賠償法1条責任／
国の施設の設置・管理の瑕疵による国家賠償法2条責任

第8講 行政訴訟 131

- 1 はじめに 131
- 2 取消訴訟 132
はじめに／取消訴訟の「訴訟要件」
- 3 無効確認訴訟 144
- 4 義務づけ訴訟 145
- 5 差止訴訟 146
- 6 住民訴訟 149

第Ⅲ部 事例研究

第9講 水質汚染—水俣病 154

- 1 はじめに 154
公害規制の仕組み／水質汚染規制の仕組み
- 2 水俣病事件 156
水俣病事件の概要／第1次訴訟／認定問題／
国家賠償訴訟の提起とその結果／おわりに

第10講 騒音公害 171

- 1 はじめに 171
- 2 航空機騒音公害訴訟 171
はじめに／大阪空港事件
- 3 基地騒音（爆音）訴訟 173
基地騒音（爆音）訴訟とは／厚木基地公害訴訟／
基地騒音（爆音）被害の性質
- 4 基地騒音（爆音）差止請求の適法性 178
自衛隊機の場合／米軍機の場合

第11講 アスベスト被害 185

- 1 アスベスト疾患とは 185
- 2 アスベスト被害救済の仕組み 186
- 3 アスベスト被害救済をめぐる訴訟 187
はじめに／泉南アスベスト訴訟について／建設アスベスト訴訟
- 4 新たな救済制度に向けて 199

第12講 廃棄物処分場紛争・土壌汚染 201

- 1 はじめに 201
 - 2 廃棄物処理に関する法制度 202
 - 3 廃棄物処分場の操業差止め 205
 - 4 土壌汚染 210
土壌汚染に対する法的規律／有害物質で汚染された土地の取引
- 補論 ^{てしま} 豊島事件—公害紛争処理法による解決 215

第13講 眺望・景観保護 219

- 1 はじめに 219
- 2 景観保護をめぐる法制 219
- 3 眺望・景観をめぐる裁判 221
眺望利益と景観利益／眺望をめぐる裁判／景観保護をめぐる裁判

- 4 ^{くにたち} 国立景観訴訟 224
 事実の概要／第1審および控訴審判決／最高裁判決／
 最高裁判決の影響

第14講 自然保護 ————— 234

- 1 はじめに 234
 2 自然保護の法的仕組み 236
 全体像／自然公園法／自然環境保全法／野生動物の保護
 3 自然保護をめぐる訴訟 240
 はじめに／奄美自然保護訴訟／泡瀬干潟訴訟／まとめ

第15講 原発訴訟 ————— 249

- 1 はじめに 249
 2 福島原発事故損害賠償訴訟 249
 はじめに／被害の救済と訴訟の動向
 3 差止訴訟 268
 福島第一原発事故前／事故後

補講 公害・環境問題における法律家(弁護士)の役割 ————— 276

～若い法律家へのメッセージ～

- 1 はじめに 276
 2 運動を通じての理論形成——「汚悪水論」を中心に 277
 3 新しい権利の主張——環境権・自然享有権・自然の権利 279
 4 おわりに 280

判例索引

事項索引